

一色地区新規バス路線運行計画案

平成28年3月

一色地区公共交通協議会

1、一色地区の現状

一色地区の公共交通は、現在、地区内を南北に縦断する路線バス「一色線」、東西に横断する「ふれんどバス」が運行されており、一色さかな広場からは、佐久島への「市営渡船」が運航されている。これらの幹線交通を補完する移動手段として、タクシーやデマンド型乗合タクシー「いこまいかー」が運行されているが、特に東部地区・西部地区を中心に、高齢者等が日常生活で地区内を移動する交通手段がない状況である。

また、平成16年に名鉄三河線（碧南駅～吉良吉田駅）が廃止され、現在鉄道は運行されていない。

2、一色地区公共交通協議会での検討経過

平成26年5月24日の「地区公共交通協議会設立に関する説明会」にて、各地区内の公共交通については、地域が主体となって設立する「地区公共交通協議会」により見直しを進めていける旨の説明が市からなされた。

中部小校区・南部小校区の委員により協議会を設立、平成26年12月22日に第1回協議会を開催し、一色地区内の公共交通について検討を行った。

平成27年度から東部小校区・西部小校区の委員も加わり、一色地区全体を巡回するバス路線の新設をテーマに計9回協議会を開催し、提案内容を決定した。

○一色地区公共交通協議会での検討経過

H26 年度	第1回(12/22)	希望のあった中部小校区・南部小校区の町内会長等が委員となり、協議会を設立、役員を選出を行った。
	第2回(2/2)	普段公共交通に対して感じていることについて意見を出し合い、人口等のデータから地区の現状を分析しつつ、地区に必要な公共交通について協議を行っていくこととした。
H27 年度	第1回(5/18)	毎月協議会を開催し、年度内に一色地区でのバス路線新設案を決定することとした。委員の変更に伴い、役員を選出を行った。
	第2回(6/22)	需要調査についてはアンケートを行わず、各委員が地元町内会から意見を吸い上げることとした。 協議会不参加の東部小校区・西部小校区の地域も含めた一色地区全体を運行する案を検討することとした。
	第3回(7/21)	東部小校区・西部小校区の町内会長がオブザーバーとして参加。 利用者がわかりやすいよう1時間に1便のダイヤで回れるルートを目安に、試走を繰り返しルートを決めていくこととした。

第4回(8/24)	東部小校区・西部小校区が新たに委員として参加。 8/9に委員で現行の六万石くるりんバスへの試乗会を行い、感じたことについて話し合いを行った。
第5回(9/24) 第6回(10/27)	白地図への書き込みや乗用車での試走を繰り返し、運行ルートについての協議を行った。
第7回(11/24)	ルートについて協議会案を決定し、バス停留所設置箇所についても概ね候補地を決定した。
第8回(12/22)	協議会案について試走結果を報告。ルート・ダイヤを最終決定し、運賃等その他条件は、現行の六万石くるりんバスと同様とした。 協議会については今後も存続し、利用促進等を行うこととした。
第9回(1/19)	H28年度の委員は、現委員の各地区の次期町内会長とした。 5月頃に鈴木会長が協議会を招集し、新委員での会議を行うこととした。

3、一色地区公共交通協議会の提案内容

(1) コンセプト・運行目的

①交通不便地域の解消

- ・東部地区や西部地区を中心とした交通不便地域における高齢者等の移動手段を確保する。

②地域内での交流促進

- ・医療機関や買い物、公民館やさかな広場等の施設など地域内の移動手段を確保し、交流促進・地域活性化を図る。

③広域的路線への接続

- ・公共施設再配置事業による支所機能移転先である公民館を拠点とすることで、幹線交通であるふれんどバス・路線バス一色線へ接続し、隣接市等への広域的な移動を可能とする。
- ・農業副都心構想の中心地である憩の農園にて、六万石くるりんバス西廻り線と接続し、西尾市街地へのアクセスを強化する。

(2) 運行条件

①運行ルート・バス停留所設置箇所

以下の方針を基本に「一色地区公共交通協議会ルート案」のとおり決定した。

- ・利用者が使いやすいよう1時間に1便のダイヤで運行できるルート
- ・バス車両の安全通行のため、原則センターラインのある道路を運行
- ・上記2点の方針に沿って、一色地区内をくまなく回るルート

バス停留所設置箇所（18箇所）

一色町公民館⇔大宝橋⇔聚楽荘⇔西三河漁協栄生支所⇔治明団地前⇔サークルK
⇔満国寺南⇔ライスセンター（池田反渕）⇔池田北⇔憩の農園⇔大塚⇔野田⇔神谷
整形（松木島西）⇔深見クリニック⇔生田公民館⇔B & G海洋センター⇔さかな広
場⇔諏訪神社南⇔一色町公民館（バス停留所名は仮称）

※池田北～憩の農園の間の福地地域にバス停を設置するかどうか今後検討する。

②その他運行条件

運賃等その他運行条件については、現行の六万石くるりんバスと同様とした。

- ・運賃…1乗車100円（回数券・乗継券あり）。小学生以下、障害者手帳・療育手帳所持者、免許証自主返納者（75歳以上）は無料。
- ・運行時間…8時台～17時台で1時間1便。年末年始を除く毎日運行。
※運行開始後に運行時間拡大を検討する。
- ・車両…現行車両の中で最小の19人乗り車両と同程度とする。

（3）地区の役割

①協議会の存続

今後も一色地区公共交通協議会を存続し、利用促進活動や目標の設定を行う。委員については、留任を妨げないが、変更する場合はこれまでの経緯を確実に引き継ぐこととする。

②バス停留所隣接地権者との交渉

道路管理者等の関係機関との調整が済み、バス停留所の設置箇所が固まった際には、隣接地権者の了解を得るための交渉を地区が行うこととする。

4、今後の進め方

上部組織である「西尾市地域公共交通活性化協議会」へ報告を行い、一色地区での新規バス路線の運行が承認された後、バス事業者や許認可機関等の各種機関との調整や市での予算措置等の手続きを進める。

なお、ルート等の運行条件については、各種機関との調整の中で多少の変更が発生する可能性があるため、その際には再度一色地区公共交通協議会で検討を行う。

●一色地区公共交通協議会ルート案



- | | | | |
|------------|----------------|-------------|--------------|
| ①一色町公民館 | ⑩憩の農園 | ⑪大塚 | |
| ②大宝橋 | ⑨池田北 | ⑫野田 | ①一色町公民館 |
| ③聚楽荘 | ⑧ライスセンター（池田反渚） | ⑬神谷整形（松木島西） | ⑩諏訪神社南 |
| ④西三河漁協栄生支所 | ⑦満国寺南 | ⑭深見クリニック | ⑰さかな広場 |
| ⑤治明団地前 | ⑥サークルK | ⑮生田公民館 | ⑱B & G海洋センター |